

編集後記=====

お忙しい中、本追悼号へ御寄稿いただいた皆様、御礼申し上げます。また本追悼号を発案・編集いただいた副会長、ありがとうございます。本郷先生、本当にいろいろとお世話になりました。ありがとうございます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。（光）

甲間に訪れたとき満開の桜が咲いていた。いつか桜の季節に京都を訪ねたいとおもっていたが……。年度初めの旅立ちに、そうか、先生は彼方へ赴任なさったのだ。とおもったら、少し心が和らいだ。晩夏、本号発行に至るに、オーシツクツクと蝉時雨。（公）

本号では長く本誌を編集してくれていた近田さんに再びお世話になりました。表紙など、いかがご覧になりましたでしょうか？今年度は年度末に通常号をさらに発行する予定です。皆様のお待ちしております。（幸）

表紙、扉、写真の頁の写真を撮影した場所と日付について

表紙と扉

観察会後の懇親会、千葉市内、1998年10月3日

写真の頁左（18ページ）

上段：第7回観察会、千葉市泉自然公園、1993年10月23日

中段：第22回観察会、千葉市泉自然公園、1998年10月3日

下段および左：第25回観察会、千葉市泉自然公園、1999年10月2日

写真の頁右（19ページ）

上段の左右：千葉県立中央博物館生態園、1991年9月30日

中段の左：第7回観察会、千葉市泉自然公園、1993年10月23日

中段の右：千葉県立中央博物館生態園、1991年9月30日

下段：第2回観察会、県立房総のむら風土記の丘エリア、1991年9月28日

千葉菌類談話会通信 23号

CHIBA MYCOLOGICAL CLUB BULLETIN NO.23

2007年9月

発行 / 千葉菌類談話会

編集 / 千葉菌類談話会編集幹事

千葉菌類談話会事務局

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館植物学研究科 吹春気付